

有田海南道路リモート見学会

先週木曜日、有田市内三中学校で同時に現在工事中の橋やトンネルからの生中継を含めたリモート見学会が行われました。この企画は、国土交通省からの提案で実施することができました。

最初に、橋の構造についてお話をして頂きました。普段あまり意識していませんが、市内にはすでに6本橋があり、それぞれ違った形をしていることに改めて気づきました。次に、トンネルはどのようにして造られていくのかについて教えて頂きました。

その後、現在建設中の橋の上と、冷水のトンネル出入り口から800 mほどの工事現場から、各校の先生とともに生中継が繋がりました。

開通前の橋の上や、工事中のトンネルの中の様子など、本来なら見ることはできない場所からの様子を見ることができ、とても貴重な学習になりました。トンネル工事現場にはほとんど人がおらず、ロボットで工事していることが分かりました。後で伺った話では、南米のトンネル工事を日本から遠隔操作している現場もあるそうです。また、中継では分かりませんでしたでしたが、トンネルの中は工事しているところから割と離れていたように見えたのですが、実際はものすごい音で、空気も埃っぽくて、大変な環境だったそうです。

各校からの質問コーナーでは、どの中学校からもなるほどと思うような質問があり、有意義な学習になりました。工事はまだまだ続くので、またこのような機会があればいいなと思いました。

ちょっと嬉しい風景

校内の何気ない風景ですが、「保中の生徒は素敵だな。」と思うことができました。

上の2枚は、22日(木)朝の玄関の様子です。雨が降っていたのですが、レインコートを着て登校した生徒がハンガーにきれいに掛けています。傘は水気をきって巻いて傘立てに立てています。下は21日(水)の授業中が始まってすぐの時間に撮影したトイレのスリッパです。向きを揃えて並べられています。

当たり前と言えば当たり前ですが、普通にできていることは素晴らしいなと嬉しく思いました。

